

クラウドナイン・クライマーズ・ネット（東京）

伊藤 忠男

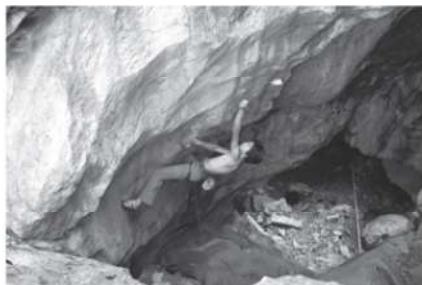
<http://www.angkorclimbers.net>

11回目

モイモイのモイ (一步一歩のたった一步)



2012年現在の僕らの人工壁、AW(アンコール・クライミング・ウォール)。



シソポン、ロスト・ライト・ケーブのTAOを開拓、初登する佐久のガイド君こと、浅井和英くん。当初5.13aとしていたが、現在は5.12dで落ちている。ただしタフな環境因子で気分は2ランクアップが妥当かも。ブノン・チエリアのNo More Monks 5.12bとともに、現時点でカンボジアを代表する好ルートだ。

佐久のガイド君は、子供たちのためのルートもたくさん作った。しかし2月末、その彼も消えた。それから半年以上、僕らは見放され、孤立した気分だった。運用戦術を練らなければならなかつたが、まずはこの壁を100kgもある西洋人のフォールと雨季の強烈なストームに耐えられるようにしなけ

目指せ、 アンコールクライマー誕生!!

着工直前までに、ドナーの数は35人になつた。でも資金は、依然として見積もり額を大きく割っていた。人工壁は、屋外型で短期利用のイベント仕様となる以外になかつた。しかし、先のことはそこでまた考えよう。

何しろ天下のアウドア総合ブランド、モンベルが味方についてくれ、草の根の原理を尊重した支援をそつと展開してくれたの

ロスト・ライト・ケーブ

だ。

人工壁は翌年、2010年2月1日に竣工した。けれど、真

の完成からは程遠い状態だった。僕は様々な方面への影響を考慮して、止む無く竣工を宣言したのだった。方々から「完成おめでとうございます」と言われた僕は、居心地の悪さに苛立つた。ボランティアで集まつてくれた熱血の施工技術者たちは竣工宣言とともに消えて行つた。ただひとり残つた佐久のガイド

君は、できたての人工壁を使って孤児院の子供たちにクライミングを指導する傍ら、シソポン「神々の寝床」に手ごろなケーブを見つけ、薄暗いテラスから天辺に空いた光の窓に向かう。「神々の寝床」に手ごろなケーブを見つけ、薄暗いテラスから天辺に空いた光の窓に向かう。僕が後に作ったトポでこのケーブは、ロスト・ライト・ケーブ、ルート名はTAO(タオ)となり、タフなクライミングを目指す「君」を待つていて。ハングドッグは無論、RPさえやバイ。倫理、と言いたいところだが、長居は無用、獰猛な赤蟻とマラリア蚊に攻撃されるからだ。

君は、できたての人工壁を使って孤児院の子供たちにクライミングを指導する傍ら、シソポン「神々の寝床」に手ごろなケーブを見つけ、薄暗いテラスから天辺に空いた光の窓に向かう。僕が後に作ったトポでこのケーブは、ロスト・ライト・ケーブ、ルート名はTAO(タオ)となり、タフなクライミングを目指す「君」を待つていて。ハングドッグは無論、RPさえやバイ。倫理、と言いたいところだが、長居は無用、獰猛な赤蟻とマラリア蚊に攻撃されるからだ。

ればならない。さらにスタッフが安全に定期点検できるようになる必要もあつた。

不器用なスムロンは与えられたモノの意味がまだよく飲み込めない風だったが、僕が一人で構造体のトップで作業していると、いつでも上がってきただ。僕が後に作ったトポでこのケーブは、ロスト・ライト・ケーブ、ルート名はTAO(タオ)となり、タフなクライミングを目指す「君」を待つていて。ハングドッグは無論、RPさえやバイ。倫理、と言いたいところだが、長居は無用、獰猛な赤蟻とマラリア蚊に攻撃されるからだ。

佐久のガイド君は、子供たちのためのルートもたくさん作った。しかし2月末、乾季目前となつた10月、やつと一般公開に踏み切つた。最初の利用客は誕生日パーティをクライミングでやろうというおしゃれなフランス人一家だった。そして、運用モデルを模索する間もなく、僕らは次々と象徴的な問題に直面していく。

佐久のガイド君は、子供たちのためのルートもたくさん作った。しかし2月末、乾季目前となつた10月、やつと一般公開に踏み切つた。最初の利用客は誕生日パーティをクライミングでやろうというおしゃれなフランス人一家だった。そして、運用モデルを模索する間もなく、僕らは次々と象徴的な問題に直面していく。

(続く)